



福井 節子 議員

高齢者が生きがいを持って暮らせる
高島市へ

介護予防カレッジの充実や、
気軽に利用できるデマンドタクシーを。

答 介護予防カレッジは民間企業の活用も図りながら考えていきます。交通はまちづくり推進会議で議論しながら、適正な交通体系を目指します。

問 いきいき元気館の閉鎖の受け皿として、今津・高島B&G海洋センターで、介護予防カレッジが市の委託事業として行われている。教室が終了するとやめて行かれる方もいるようだ。引き続き一般の教室や水泳教室に移行し、継続して参加していただくことが望まれるが、どのように勧められているか。

答 健康福祉部長 介護予防カレッジは高齢者が個々の健康づくりや介護予防に取り組みきつかけとして開催をしています。参加された方には、教室の中で各施設が独自で開催されている講座をはじめ、地域サロンや自主グループの活動について情報提供し、教室終了後も参加者の体力に応じた形で介護予防に継続して取り組んでいただくための支援を行っています。

問 介護予防カレッジは民間企業の活用も図りながら考えていきます。交通はまちづくり推進会議で議論しながら、適正な交通体系を目指します。

答 介護予防カレッジは民間企業の活用も図りながら考えていきます。交通はまちづくり推進会議で議論しながら、適正な交通体系を目指します。

問 介護予防カレッジはプール施設がない地域でも開催できないか。

答 健康福祉部長 健康維持の目的です。特に必要というものではありません。今後はいろいろな形で対応して行きたいと考えます。

問 ほおじろ荘は「利用者が増加傾向」とのことだが、利用回数が増えているだけ。講師による教室を開き、利用者を増やせないか。

答 都市整備部長 市民の方々からご意見もいただき、現状に課題があることは認識しています。本年度より、「まちづくり推進会議」でバスの運行について議論いただき、適正な公共交通体系を目指します。

問 高齢者が気軽に利用できる公共交通のデマンドタクシーが必要ではないか。

答 健康福祉部長 いきいき元気館の利用者の継続利用という形で移設させていただきました。今後、民間企業も活用させていただきます。引き続き考えていきます。

問 新旭体育館、ほおじろ荘の機器は「トレーニングマシン講習会修了書」がなければ利用できないが、なぜか。

答 健康福祉部長 一定の講習を受けた方で、効果のある使い方を理解し、安全に使っていただくこと



ほおじろ荘

その他の質問

- 響庭野演習場での81mm迫撃砲など演習禁止の要請で、市民の暮らしに安心を
- 新環境センターは万全か